

### バンダイこどもアンケートレポート Vol.230

## 「小中学生のスポーツに関する意識調査」結果

- TOPIC①: 体育の授業以外で行っているスポーツの総合TOP3は、  
**「水泳」、「サッカー」、「テニス」**が根強い人気。  
 「体力づくり」、「友達・兄弟の影響」で取り組んでいる子どもが多数。
- TOPIC②: 好きなスポーツ選手 総合第1位は**錦織圭選手**。  
 男子は**錦織圭選手**や、**ウサイン・ボルト選手**など**トップクラスの男性アスリート**が人気。  
 女子は**浅田真央選手**や、TOP5に初ランクインした**福原愛選手**など  
**世界の舞台で活躍し続ける強さと親しみやすさのあるアスリート**を支持。
- TOPIC③: 今後チャレンジしたいと思うスポーツ TOP5に**「ダンス」**がランクイン。  
 TOP10には、**「バドミントン」**や**「スケート(フィギュアスケート含む)」**など、  
**日本人選手が世界で存在感を発揮しているスポーツ**がランクイン。
- 総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、10月10日(月・祝)の「体育の日」および「スポーツの秋」にあわせ、小学1年生～中学3年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)900人を対象に、「小中学生のスポーツに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間 2016年8月19日(金)～8月21日(日))

- TOPIC①: 体育の授業以外で行っているスポーツの総合 TOP3 は、  
「水泳」、「サッカー」、「テニス」が根強い人気。  
「体力づくり」、「友達・兄弟の影響」で取り組んでいる子どもが多数。

#### 【体育の授業以外で行っているスポーツ】 (単一回答、選択式)

男女総合TOP5		
1位	水泳	17.6%
2位	サッカー	7.2%
3位	テニス	5.4%
4位	野球	4.0%
5位	バスケットボール	3.4%

男子TOP3		
1位	水泳	16.9%
2位	サッカー	13.1%
3位	野球	7.6%

女子TOP3		
1位	水泳	18.2%
2位	ダンス	6.0%
3位	テニス	4.2%

※2015年の調査対象は、  
 小学2年生、5年生、中学2年生

子どものスポーツへの関わり方について探るため、「体育の授業以外でスポーツをしているか」を聞いたところ、体育の授業以外でスポーツをしている子どもは全体で59.8%(男子67.1%、女子52.4%)となりました。行っているスポーツについて聞いたところ、**総合第1位は「水泳」(17.6%)**で、男女別のランキングでも共に第1位となっており、人気のスポーツとして確立していることが読み取れます。次いで第2位は「サッカー」(7.2%)、第3位は「テニス」(5.4%)という結果で、総合TOP3は昨年の調査※に引き続き2年連続同じスポーツが順位の変動もなくランクインし、習い事や部活動などでの人気の安定性がうかがえます。

男女別にみると、男子TOP3は「水泳」、「サッカー」、「野球」、女子TOP3は「水泳」、「ダンス」、「テニス」という結果になり、女子では体育の授業で近年必修化された**「ダンス」**が昨年に続き**第2位にランクイン**しました。

体育の授業以外でスポーツを行っている理由について聞いたところ、「体力づくり(子どもの意向)」(41.4%)、「体力づくり(親の意向)」(46.1%)が多数を占め、親の意向だけではなく、自分自身

で体力づくりのためにスポーツに取り組む姿勢がうかがえます。また、「友達・兄弟がやっているから」が親子共にそのスポーツを行っている理由の第2位にランクインしました。身近な人の影響で同じスポーツに取り組んでいることは多いようで、スポーツが親子のコミュニケーションツールとなっている可能性が高いことが読み取れます。

**【体育の授業以外でスポーツを行っている理由】** (複数回答、選択式)

子どもの意向			親の意向		
1位	体力づくり	41.4%	1位	体力づくり	46.1%
2位	友達・兄弟がやっているから	33.5%	2位	(子どもの)友達・兄弟がやっているから	10.6%
3位	親が経験者だから	5.9%	3位	親(自分)がそのスポーツを好きだから	9.9%
4位	親がそのスポーツを好きだから	5.8%	4位	親子のコミュニケーション	7.1%
5位	オリンピックに出たいから	3.7%	5位	親(自分)が経験者だから	6.9%

**TOPIC②:好きなスポーツ選手 総合第1位は錦織圭選手。**

**男子は錦織圭選手や、ウサイン・ボルト選手などトップクラスの男性アスリートが人気。**

**女子は浅田真央選手や、TOP5に初ランクインした福原愛選手など**

**世界の舞台で活躍し続ける強さと親しみやすさのあるアスリートを支持。**

**【好きなスポーツ選手】** (単一回答、選択式)

男女総合TOP10				男子TOP5			
1位	錦織圭	(テニス)	10.6%	1位	錦織圭	(テニス)	10.9%
2位	浅田真央	(フィギュアスケート)	8.1%	2位	ウサイン・ボルト	(陸上)	6.7%
3位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	5.4%	3位	イチロー	(野球)	6.4%
4位	福原愛	(卓球)	5.3%	4位	大谷翔平	(野球)	6.0%
5位	ウサイン・ボルト	(陸上)	4.8%	5位	本田圭佑	(サッカー)	5.6%
6位	イチロー	(野球)	3.8%	<b>女子TOP5</b>			
7位	内村航平	(体操)	各3.7%				
	本田圭佑	(サッカー)		1位	浅田真央	(フィギュアスケート)	15.8%
9位	大谷翔平	(野球)	3.6%	2位	錦織圭	(テニス)	10.2%
10位	萩野公介	(水泳)	3.1%	3位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	7.6%
				4位	福原愛	(卓球)	7.1%
				5位	木村沙織	(バレーボール)	4.4%

好きなスポーツ選手では、昨年総合第2位の錦織圭選手が、昨年総合第1位だった浅田真央選手を抑え、総合第1位となりました。錦織圭選手は男女別にみても男子で第1位、女子でも第2位と非常に高い人気を得ていることがわかります。好きな理由としては、「強いから」、「戦っている姿がかっこいいから」、「努力家だから」といった声があげられ、世界のトップクラスで活躍している姿に憧れている様子がうかがえます。

総合第2位には浅田真央選手が、第3位には同じくフィギュアスケートの羽生結弦選手がランクイン。どちらも女子からの支持が高い結果となりました。

男女別に見ると、男子は錦織圭選手やイチロー選手、本田圭佑選手など、海外で長年プレイをして第一線で戦い続けている選手や、圧倒的な強さを誇るウサイン・ボルト選手などに支持が集まりました。好きな理由としても「強いから」に加えて、「尊敬しているから」という声もあがり、男子のアスリートへの憧れを感じ取ることができます。一方で、女子は浅田真央選手や福原愛選手がランクイン。福原愛選手は昨年の調査では総合・女子共にTOP10圏外だったところから初のTOP5入りとなりました。好きな理由として、「努力家だから」、「強いから」ということに加えて、「かわいいから」といった声があがり、世界と戦える強さを持ちながらも親しみやすさがある点が支持された傾向が読み取れます。

### TOPIC③: 今後チャレンジしたいと思うスポーツ TOP5 に「ダンス」がランクイン。

TOP10 には、「バドミントン」や「スケート(フィギュアスケート含む)」など、日本人選手が世界で存在感を発揮しているスポーツがランクイン。

今後チャレンジしたいスポーツ(現在行っているものは除く)について聞いたところ、総合第 1 位は「水泳」という結果になりました。総合 TOP3 は、「水泳」、「テニス」、「サッカー」と、現在取り組んでいるスポーツと「テニス」と「サッカー」の順位が入れ替わっただけの結果となり、上位 3 スポーツが安定した支持を集めていることがわかりました。

現在行っているスポーツでは総合第 7 位だった「ダンス」は第 4 位にランクイン。近年、体育の授業でダンスが必修化されたことも影響していると推測されます。またそれに加えて、「踊ることが好き」、「音楽が好き」といった声が多くあがり、スポーツとしてだけではなく、「音楽を楽しむ」などのアクティビティとして捉えられていることも読み取れました。

また、第 5 位には「野球」、「バドミントン」、「卓球」が、第 10 位には「スケート(フィギュアスケート含む)」がランクイン。オリンピックやテレビ放送される試合で活躍している選手の姿を通して、色々なスポーツへのチャレンジ意欲が高まっているのではないかと推測されます。

新たなスポーツにチャレンジしたいと思う理由としては、「友達や家族がやっているから」という声に加えて、「上手になりたいから」など、自分のためにチャレンジしたいという声も寄せられました。また、「錦織選手のようなテニスをしたいから」、「ボルト選手のようにになりたいから」など、選手への憧れも理由になっていることがわかりました。

#### 【今後チャレンジしたいスポーツ】

(複数回答、選択式)

男女総合TOP10			男子TOP5		
1位	水泳	7.2%	1位	サッカー	7.3%
2位	テニス	5.3%	2位	野球	6.9%
3位	サッカー	4.8%	3位	水泳	6.2%
4位	ダンス	4.2%	4位	テニス	4.4%
5位	野球	各3.7%	5位	卓球	2.9%
	バドミントン				
	卓球				
8位	バスケットボール	2.7%	女子TOP5		
9位	陸上競技	2.0%	1位	水泳	各8.2%
10位	スケート (フィギュアスケート含む)	1.9%		ダンス	
			3位	テニス	6.2%
			4位	バドミントン	4.7%
			5位	卓球	4.4%

#### 【バンダイからのコメント】

今回は 10 月 10 日の「体育の日」、「スポーツの秋」にあわせ、スポーツに関するアンケートを実施しました。現在取り組んでいるスポーツの総合 TOP3 は、昨年のアンケートに引き続き「水泳」、「サッカー」、「テニス」という結果になりました。チャレンジしたいスポーツについても「水泳」が支持され、安定した人気を得ていることがわかります。

また、「体育の日」を前に「スポーツイベントなどへの参加予定」を聞いたところ、地域で行われる運動会やレクリエーション、市民体育祭など、地域密着型のイベントに参加を予定している子どもが全体の 6.1%という結果になりました。今年 8 月にはリオデジャネイロオリンピック、9 月にはパラリンピックが開催され、4 年後には東京で開催される中、これからさらにスポーツに関する話題が盛り上がり、子どもたちがさまざまな形でスポーツに積極的にチャレンジし、楽しむ場が広がってくれることを期待しています。

■調査概要

【調査目的】スポーツへの関わり方について実態を探る

【調査地域】全国

【対象者条件】小学1年生～中学3年生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】2016年8月19日(金)～8月21日(日)

【サンプル数】900人

【構成】

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生
男子	50人								
女子	50人								

参考①:体育の授業以外で行っているスポーツ(2015年)

男女総合TOP5		
1位	水泳	16.5%
2位	サッカー	9.2%
3位	テニス	6.3%
4位	野球	3.8%
5位	バスケットボール	3.1%

男子TOP3		
1位	水泳	17.6%
2位	サッカー	17.4%
3位	テニス	8.1%

女子TOP3		
1位	水泳	15.5%
2位	テニス ダンス	各4.5%
3位	バスケットボール	各3.3%
	バレーボール	
	体操・新体操	
	バドミントン クラシックバレエ	

※2015年の調査対象は、小学2年生、5年生、中学2年生

参考②:好きなスポーツ選手(過去2回分)

2015年 男女総合TOP10		
1位	浅田真央 (フィギュアスケート)	13.1%
2位	錦織圭 (テニス)	12.7%
3位	羽生結弦 (フィギュアスケート)	7.6%
4位	ウサイン・ボルト (陸上)	各5.1%
	木村沙織 (バレーボール)	
6位	本田圭佑 (サッカー)	4.9%
7位	イチロー (野球)	4.2%
8位	ネイマール (サッカー)	3.8%
9位	坂本勇人 (野球)	2.5%
10位	澤穂希 (女子サッカー)	2.1%

2013年 男女総合TOP10		
1位	イチロー (野球)	5.3%
2位	本田圭佑 (サッカー)	5.1%
3位	北島康介 (水泳)	4.3%
4位	香川真司 (サッカー)	4.1%
5位	浅田真央 (フィギュアスケート)	3.1%
6位	ウサイン・ボルト (陸上)	2.5%
7位	木村沙織 (バレーボール)	2.4%
8位	澤穂希 (サッカー)	2.3%
9位	錦織圭 (テニス)	2.1%
10位	リオネル・メッシ (サッカー)	1.9%

※2014年は、好きなスポーツ選手を聴取していません

※2015年の調査対象は、小学2年生、5年生、中学2年生

※2013年は、記述形式での聴取

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>